

**G-SCAN**

# 整備サポートセンターからの 整備技術情報



製品について詳しくは  
[g-scan.jp](http://g-scan.jp)



## 整備サポートセンター

サポート費 ¥27,500<sup>税込</sup> / 年

月～金 10:00～17:00 / 土 10:00～15:00

(祝祭日、休業日は除く)

# クーラーハイブリッド(MHU28W)

## ブレーキフルード交換要領

- 適応車種:クーラーハイブリッド(MHU28W)
- 適応年式:平成 17 年 3 月～平成 19 年 5 月

G-scan を使用して行なうクーラーハイブリッド(MHU28W)のブレーキフルード交換要領を記載しますので、参考にしてください。



### ※注意※

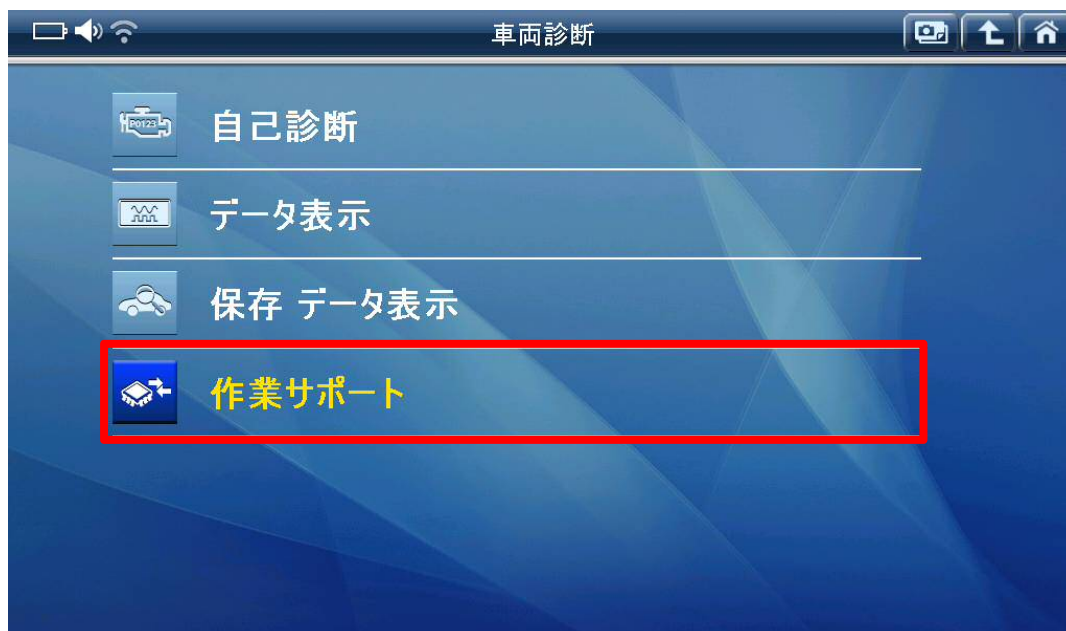
- ・ブレーキフルードの交換は車両停止状態、車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行してください。
- ・エア抜きを行う際はシフトレバーPレンジでパーキングブレーキを効かせた状態で作業を行なってください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで行なってください。エアが完全に抜けていないと車両に悪影響を及ぼすだけでなく、ブレーキ回路に支障をきたし、正常なブレーキ操作ができなくなり、交通事故を引き起こす原因となります。
- ・交換中はリザーバタンク内のブレーキフルードが常にリザーバタンクを満たしている状態にしてください。

### ブレーキフルードの交換要領

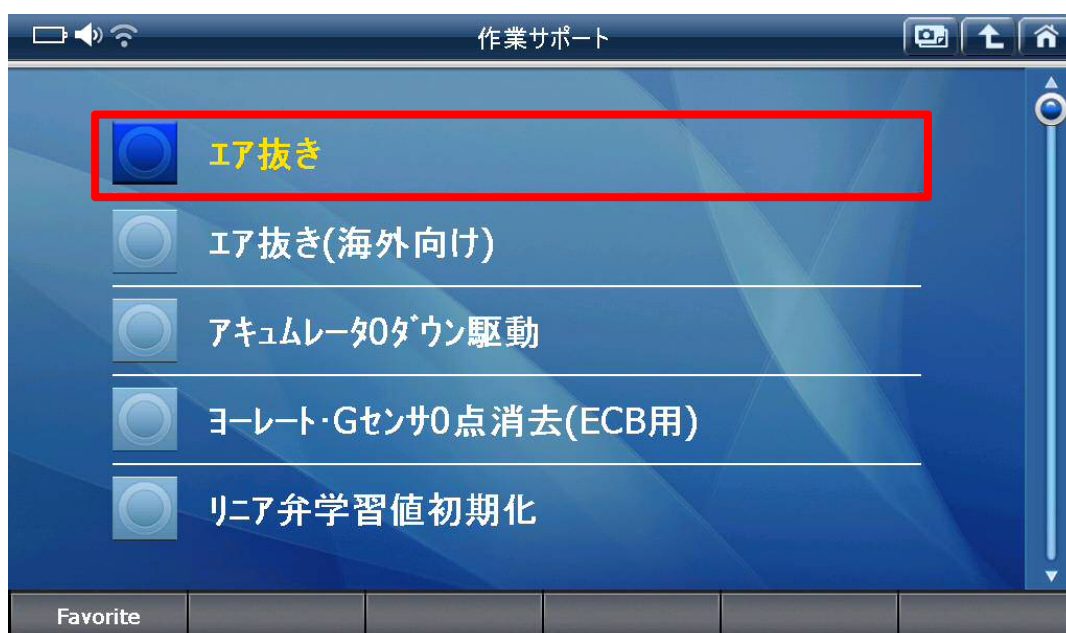
1. ブレーキフルードをリザーバタンクの MAX ラインまで補充してください。
2. プッシュスタート SW が OFF の状態で、G-scan を DLC3 コネクタ(OBD16 ピン)に接続してください。
3. プッシュスタート SW を ON にしてください。

4. G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『ABS/VSC』又は『ABS/VSC/ARS』を選択してください。

5. 診断メニューにおいて、『作業サポート』→『エア抜き』の順番で項目を選択してください。エア抜き項目が表示されます。

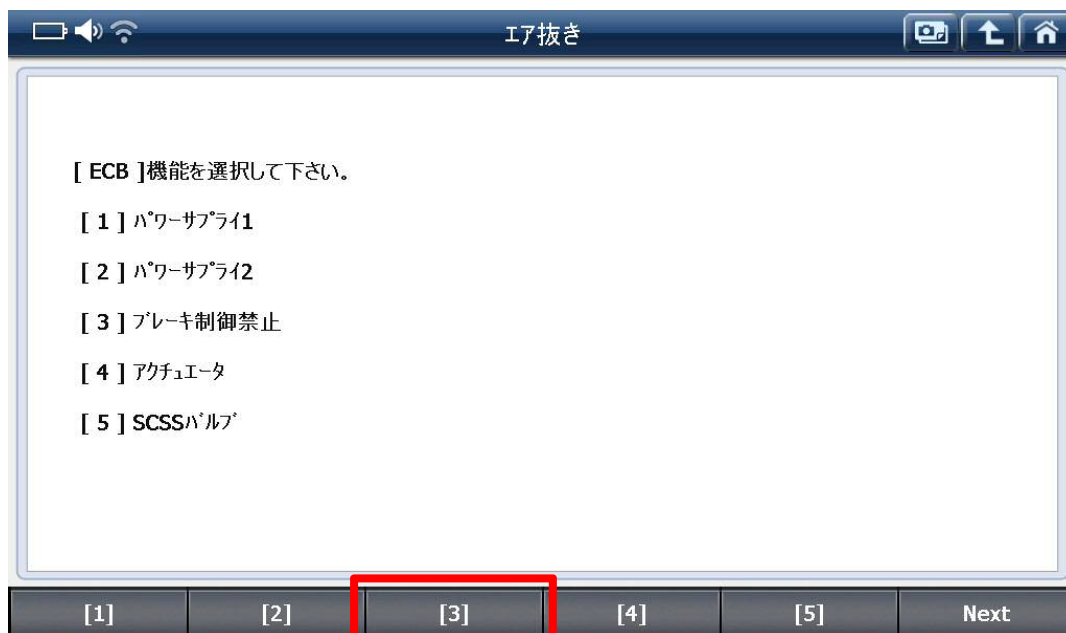


〈図: 作業サポートを選択〉



〈図: エア抜きを選択〉

6. 『ブレーキ制御禁止』を選択して、実行してください。



〈図:ブレーキ制御禁止を選択〉



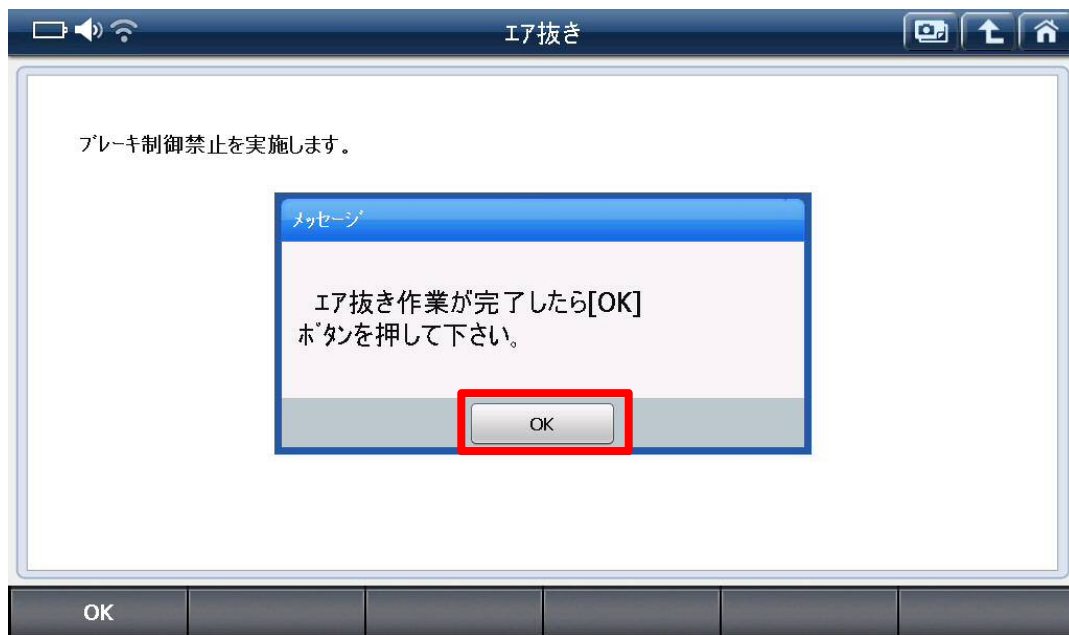
〈図:ブレーキ制御禁止を実行〉

7. ブレーキペダルをペダリングし、フロント右、左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。

**※注意※**

- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・エア抜きは右、左の順に行なってください。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： 8.3N・m {85kgf・cm}

8. G-scan で実行した『ブレーキ制御禁止』を解除します。



〈図:ブレーキ制御禁止の解除〉

9. G-scan の診断メニューにおいて『自己診断』を選択して記憶された故障コードを消去してください。

10. G-scan の診断メニューにおいて『作業サポート』→『エア抜き』の順番で項目を選択し、最後に『ブレーキ制御禁止』を選択し、再度実行してください。

11. ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびソレノイド駆動中にリア左のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。エア抜きはブレーキペダルをペダリングせず、踏み込んで保持した状態で行なって下さい。

**※注意※**

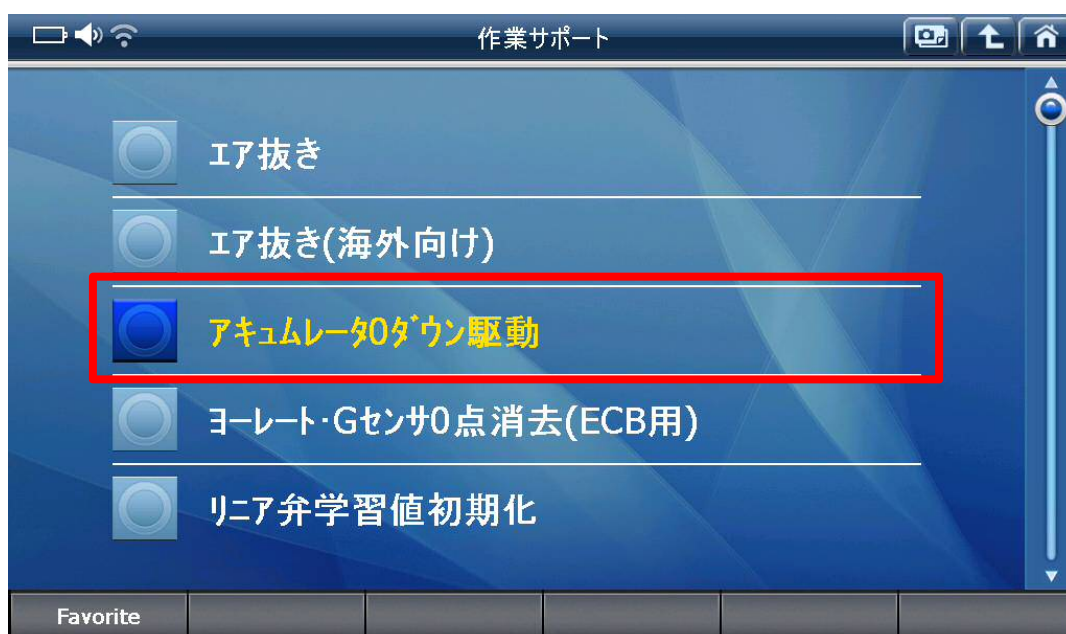
- ・ソレノイドの駆動は約 30 秒を目安にして、ペダルを離して停止してください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・エア抜き中に ECB ウォーニングランプ点灯、ブザーが鳴りますが異常ではありません。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： 8.3N・m {85kgf・cm}

12. ブレーキペダルを踏み込んだ状態で、ポンプモータおよびソレノイド駆動中にリア右のブリーダプラグよりエア抜きを行なってください。エア抜きはブレーキペダルをペダリングせず、踏み込んで保持した状態で行なって下さい。

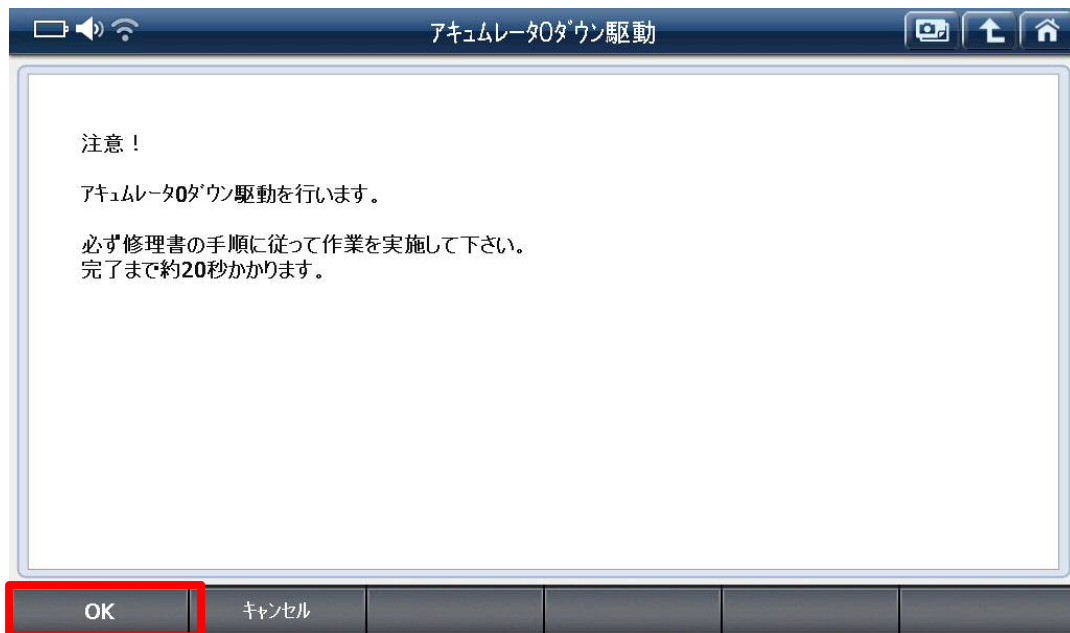
**※注意※**

- ・ソレノイドの駆動は約 30 秒を目安にして、ペダルを離して停止してください。
- ・エア抜きはエアが完全に抜けるまで繰り返し行なってください。
- ・エア抜き中に ECB ウォーニングランプ点灯、ブザーが鳴りますが異常ではありません。
- ・ブリーダプラグの締め付けトルク： 8.3N・m {85kgf・cm}

13. G-scan の診断メニューにおいて『作業サポート』→『アキュムレータ 0 ダウン駆動』の順番で項目を選択し、『アキュムレータ 0 ダウン駆動』を実行してください。



〈図:アキュムレータ 0 ダウン駆動を選択〉



〈図:アキュムレータ0ダウン駆動を実行〉

14. ブザーが鳴ることを確認した後、プッシュスタート SW を OFF→ON してください。
15. 13、14の作業を 5 回繰り返してください。
16. リザーバタンク内のブレーキフルードが MAX レベルになるようフルード量を調整してください。
17. 最後に G-scan の診断メニューにおいて『自己診断』を選択して記憶された故障コードを消去してください。

## 問い合わせ窓口

### ■ アフターサポート

ナビダイヤル **0570-064-737**

受付時間：月～金 10:00～17:00 ※祝日、休業日は除く  
※IP電話・PHSからはご利用出来ません

音声ガイダンスに従って、ご希望の番号を押してください

- ① 整備サポートセンター
- ② 製品保守センター
- ③ アフターサービス更新のお申込み

---

株式会社インターサポート 〒310-0803 茨城県水戸市城南 1 丁目 6 番 39 号

Tel 029-303-8021 (代) / Fax 029-303-8022

<https://www.inter-support.co.jp/>

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。  
本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。